

い k i i k i LIFE エイジングマガジン みやぎ 冬号 WINTER

2016年12月13日発行

発行 社会福祉法人宮城県社会福祉協議会
〒980-0011 仙台市青葉区上杉1丁目2-3
TEL.022-223-1171 FAX.022-223-1151
ホームページ <http://www.miyagi-sfk.net/>
(※トップページの「広報」で紙面を閲覧できます)

企画編集 河北新報社
協力 宮城河北会

INDEX

- 3-4 ねんりんピックレポート
- 5 足元ルンルン体操
- 6 イベント&トピックス/お好みシネマ缶
- 7 ピックアップ
- 9 宮城いきいき便り
- 10 いきいきSUNクラブnews
- 11 SUNSUNTライ
- 12 いきいきサロン
- 13 短歌/俳句/川柳/消費生活センター
- 14 Q&A

第29回 全国健康福祉祭ながさき大会 ねんりんピック長崎2016

スポーツ・文化・健康・福祉の総合的なシニアの祭典「第29回全国健康福祉祭ながさき大会」(愛称:ねんりんピック長崎2016)が、10月15日から18日まで長崎県で開催された。「長崎で ひらけ長寿の夢・みらい」をテーマに、全国から集まったシニアが熱戦を展開。宮城県からは60歳以上の141人の監督・選手が20種目の競技に参加した。大会終了後、参加者にインタビューした。(3・4面に関連記事)

逆転勝利の後に笑顔で記念撮影



ソフトボール 多賀城クラブシニア

初戦の逆転劇で勢いに乗る

多賀城市や七ヶ浜町に住む部員で活動する「多賀城クラブシニア」は、ねんりんピック初出場ながらベスト16入りを果たした。2005年に発足し、今年「全日本シニアソフトボール大会」に出場。県内のシニア世代のソフトボールチームの中で上位の実力を誇る。

監督の森俊二さん(71)は「岡山県代表と対戦した1回戦の逆転勝利で勢いに乗れた」と分析する。4対0で相手がリードす

る状況で迎えた4回裏、3番の阿部輝夫さん(71)がヒットで出塁。その後、渋い当たりが続く同点さらには逆転サヨナラで勝利した。森さんは「着実に点を重ねて勝つのがうちのパターン。今回のような逆転勝利は珍しく、大盛り上がりだった」と笑顔を見せる。

部員の多くが長崎県を訪れるのは初めて。レンタカーを借りて、島原半島や長崎市内を観光したのも楽しい思い出だ。

監督・選手インタビュー

国際都市で熱闘



宮城の実力者が集まり、快勝した。右から3番目が渡邊さん

バウンドテニス 宮城のそよ風

ライバル同士で協力プレー

東北大会や全国大会で活躍する選手が県代表として参加した。メンバーは20年以上バウンドテニスを続けるベテランばかりだ。

代表の渡邊芳広さん(61)は「メンバーとは、普段はライバル同士。さまざまな大会で何度も戦っている。実力者がそろったので『優勝できる』と思っていた」と自信をのぞかせる。

試合は味方同士でラリーが何回続くかを競う「B7ラリー戦」と「団体ダブルス戦」の2種。まずはB7ラリー戦に挑んだが、結果は35チーム中31位だった。

この悔しさをばねに臨んだ団体ダブルス戦で、予選は危なげなく通過。決勝トーナメントでは強豪の福島県チームと当たり、苦戦しながらも抜群のチームプレーで勝ち抜いて優勝を果たした。

渡邊さんは「ライバルだからこそパートナーのプレイスタイルを知り尽くしているため、お互いに安心して任せられた。今大会で絆が強まったように思う」と笑顔で語った。